

クビアカツヤカミキリの 情報提供にご協力をお願いします。

クビアカツヤカミキリは、モモ、ウメ、カキ、サクラなどを加害する外来の害虫で、平成27年に徳島県内の一部地域で発生が確認されました。

クビアカツヤカミキリの幼虫は、樹木に寄生し、内部を食い荒らし枯らしてしまいます。

現在、県では発生状況の確認に努めています。お近くのモモ、ウメ、カキ、サクラなどで成虫や大量のフラス（木屑と虫糞が混じったもの）を確認した場合は、病害虫防除所（電話：088-674-1954）までご連絡をお願いします。

なお、まん延防止のため、成虫を確認した場合は、捕殺していただきますよう、重ねてお願いします。

<特徴>

- 成虫は28～37mmの大きさで、光沢のある黒色。
- 赤色の背中が特徴で、側面に突起があります。
- 成虫は6月中旬から8月上旬に現れ、幹や樹皮の割れ目に産卵し、8～9日後に孵化します。
- 幼虫が寄生した樹からは大量のフラス（木屑と糞の混じったもの）が排出されます。



成虫



幼虫



幼虫が排出したフラス



被害を受け枯れた樹（モモ）

<お問合せ先>

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

〒779-3233 名西郡石井町石井字石井1660

徳島県農林水産部もうかるブランド推進課安全安心農業担当

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

電話：088-674-1954

電話：088-621-2411